

ケアハウス王喜の郷

はじめまして。2月22日よりケアハウスの事務員として勤務させていただいております藤本理恵と申します。

菊川町から通っています。

前職では歯科助手をしていたのですが、以前から興味があった事務職に就きたいと思い、職業訓練校に通い、パソコンのスキルや事務に必要な知識を学び、こちらでお世話になることになりました。

まだ、不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、日々、努力してまいりますのでよろしくお願い致します。



事務 藤本 理恵

ケアハウス王喜の郷(厨房)

花粉の季節到来！

今年もまた、私の嫌いな季節がやってきました。

今まで平気だったのに、去年突然発症し、目のかゆみ・鼻炎に毎日悩まされています。

花粉症を引き起こす花粉は約60種類ほどあるそうで、スギ花粉が収まる頃に出てくるのがヒノキで3月末から5月初旬までだそうです。まだまだこの花粉に悩まされると思うと憂うつでたまりません。そろそろ病院に行くべきかなと思っています。

やはり市販の薬では効果なしでした。

早くこの花粉から解放される日を待ち望んでいます。



厨房 水嶋 麻里

王喜の郷デイサービスセンター

桜の花も咲きそろい、春たけなわの好季節となりました。

昨年の12月より、デイサービスで勤務させて頂いています。

デイサービスでは、ご利用者の皆さまと出来る限りコミュニケーションを取り、一日も早く皆さまの事を理解出来ればと思っています。

今まで私が勉強してきました機能訓練やレクリエーションの知識を活かし、先輩職員の方々が培ったものも参考に、利用者の皆さまの残存機能の維持・向上に努め、ADL(日常生活動作)低下防止を図れるように頑張っております。

どうぞよろしくお願い致します。

看護職員 蘭香 通子

グループホーム王喜の郷

厳しい寒さも少しずつ和らぎ、春の訪れが感じられるようになりました。

3月はお雛さま飾りを行い、皆さんとても喜ばれていました。中庭での外気浴は雨が降ったり寒い日があった為、室内で体操や廊下を歩くなどの機能訓練を行いました。

また“あいうべ”体操を行い、えんげ機能の維持に取り組んでいます。一人ひとりに「ゆっくりと、よく噛んでください。」と声掛けをかけたたり、きちんと飲み込めているかの確認を行っています。

4月はさくらの花見を予定しています。皆さん、とても楽しみにされています。



介護職員 浦 洋子

王喜の郷居宅介護支援センター

疾患の進行や心身機能の低下などにより、誰かの支援が必要になっても、自分でできることがあることは、喜びや意欲に繋がります。

事例ですが、車椅子の背中角度を自分で変えることができることで、ご本人の生活が変わったと言う記事を見ました。小さな事でも自分ができることが見つかれば、少しずつ増やして行けることは大切だと思いました。

介護保険の支援サービスを計画するときに、「できること」と「できないこと」を聞き取ります。できることは継続できるように、できないことは工夫したり専門職の意見きいたりしながら、皆さんの生活が良くなるように一緒に考えていきます。よろしくお願い致します。

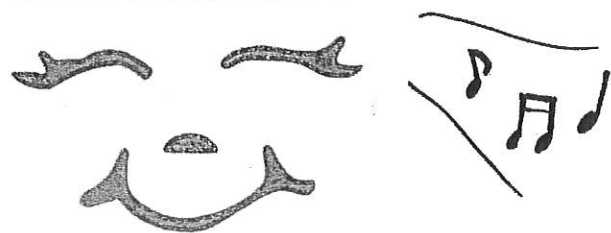
主任介護支援専門員 野平 千加子

王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

暖かかったり寒かったりの日々ですが、皆さま体調はいかがでしょう。季節の変わり目は悩みやストレスを抱えやすい時期ともいわれています。ストレスを上手に解消する方法を自分なりに見つけ心も体も健康に保ちましょう。

笑顔を作ると脳は笑っていると錯覚し心身の緊張が和らぎ、音楽を聴いたり歌ったり話したりすることが発散に繋がるそうです。

暖かくなってきましたので、布団干しやシーツカバー等遠慮なくご依頼ください。



訪問介護員 山本 美弥子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

フレイル(虚弱)予防についてお話しします。

- ①栄養・・・3食しっかりバランスよく食べる
 - ②口腔・・・誤嚥予防、嚥下機能の維持に口筋体操を行う
 - ③身体活動・・・体操や適度な運動をし身体を動かす
 - ④社会参加・・・外出、会話、歌うなどで人とつながる
- 4つのポイントがフレイル予防に繋がります。

ミントの家では、毎日、上下肢の運動や口筋体操、あいうべ体操を行っており、運動や声を出すことで、日常生活にメリハリが出る様にしています。

3月25日(土)には、のど自慢大会を行いました。「若い時には、声が出たけど、今は駄目やね。」「こんなに声が出るとは思わなかったけど、歌えて良かった。」との感想があり、炭坑節や青い山脈など、皆さんよく声が出て、日頃の体操の成果が出ていました。

介護職員 山田 淳美

放課後等デイサービス さくら

さくらでは、3月に小学生1名、中学生2名、高校生3名の子ども達が卒業を迎えました。高校生の3名はこれから別々の進路になります。我慢することが難しく不安定になる子、意思表示や要求を自ら発信することが難しい子等、色々な課題を持った子達でした。今では我慢することが出来るようになり、折り合いをつけて気持ちを切り替える事が出来るようになりました。意思表示や要求についても絵カードやコミュニケーションボードを用いて支援員に伝えたり短い言葉で伝える事が出来るようになってきました。

少しずつですが、日々の繰り返しで出来る事が増えてのさくら卒業となったことが、支援員一同とても嬉しく思います。子ども達一人一人に出来る事が増え先々でも役立てる事が出来るよう、これからも考えながら支援に取り組んでいこうと思います。



さくら支援員 松下 美由紀

たんぽぽ通信

4月1日発行 194号
 ケアハウス王喜の郷 令和5年4月号

Webページ <http://www.ryokujyukai.jp>

巻頭言

年々桜の開花時期が早くなります。3月の末に木屋川の桜も満開となり、4月は散る桜ですね。「日本人はどうして桜が好きなのでしょう。」とある職員が言いました。「散り際がいいからではないでしょうか。」と別の職員が言っていました。粉雪のように舞う花びらは美しく夢のようですね。桜もありますが、ケアハウスや隣のミントは水仙が終わりチューリップが咲いています。イチゴの小さく白い花も咲いています。フリージャーは固い花芽を付けています。さてこの3月に厨房は3名のベトナムからの新人を迎えました。言葉での理解はまだ難しいのですが、皆様のお名前も覚えてきています。これから3年、彼女たちの成長を見守り育ててやってください。にこにこミーティングでも話しましたが、ぼつぼつケアハウスでも外出を応援する催しを少しずついけます。残念ですが、ご家族などがお部屋へ自由に訪問されるのはもう少しお待ちください。玄関での面会は、やはり人数、時間の制限を設けさせて頂いています。少しずつ段階的に出来ることを増やしていきたいと考えていますのでご協力をお願い致します。 施設長 末谷千秋

4月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
30						1
2	3 不在者投票 8:30~	4	5 清明 レトロコンサート	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17 ビューティーヘルパー	18	19	20 穀雨	21	22
23	24	25	26 レトロコンサート	27	28	29 昭和の日

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
 **ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
 ***イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
 ****レトロコンサート: 午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のシニアハウス。同じ内容です。参加費300円
 *****なの会(習字)はお休みさせていただきます。

昭和レトロコンサート

二大作曲家
 吉田正 & 船村徹

「異国の丘」「いつでも夢を」「東京だよおっ母さん」

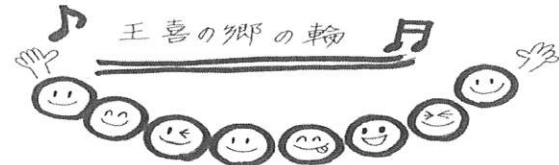
日時 四月五日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三〇分~十五時

四月二十六日(シニアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三〇分~十五時

♪懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください♪

【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)

【お問い合わせ】 山根(ミント) 中村(ケアハウス)



王喜の郷の輪 第3回
 吉村ひとみ様(1/3)
 (社会福祉法人緑樹会 理事)

待ちに待ったお花見の季節がやってきましたね。木屋川河川公園の桜並木、功山寺や火の山公園の桜もきれいです。私がこれまでに見た桜の中で一番感動したのは、京都醍醐寺の桜。さすが太閤秀吉が「醍醐の花見」を行った場所だけに圧巻でした。桜並木が続き、びっしりと花が咲いて空も見えないほど。また、北野天満宮近くの平野神社の桜も種類が多くて見ごたえがありました。お花見と言えば、やっぱり「花より団子」で、何を食べようかとこれも楽しみです。桜餅は定番ですね。普段、私達が食べている桜餅は、道明寺粉製で関西風のもので、これは長命寺桜餅と呼ばれています。外側は桜の葉の塩漬けで包みますから、関西風のものと同じです。

この関東風の桜餅の起源は、江戸時代。享保2年(1717年)八代将軍吉宗が隅田川畔に桜を植え、その桜の葉を利用して長命寺の門番がこの餅を作り花見客に売ったのが最初とか。今でも東京都墨田区のスカイツリーの近くに長命寺桜餅を作っているお店があります。

お干菓子も三重県の伊賀上野に「さまざま桜」という銘菓があります。松尾芭蕉の『さまざまな事おもひだす桜かな』という俳句に由来したお菓子です。寒梅粉や山芋など使い桜の花びらの形で、パリッとした口当たりです。

桜を見上げながら、お茶を一服。美味しいお菓子に思わず笑みがこぼれます。

「生誕110年 林伊佐緒を語る」

林伊佐緒は興風中学校(現:山口県立小野田高等学校)在学中に母、コヤへ将来は音楽で生計を立てたい思いを打ち明けたが猛反対させました。興風中学校を卒業後、明治大学商学部に進学する事を条件に東京へ上京しましたが、やはり音楽への道が諦めきれずに明治大学に通いながら音楽学校を受験しました。しかし、音楽学校に関する知識もなく、まず最初に受験したのが日本一難関と言われた東京音楽学校(現:東京芸術大学)でした。東京音楽学校では聴音の試験(音楽を聴いて五線譜に音符を記入する試験)で五線譜に音符を書かずにハーモニカの番号譜を書き不合格となりました。次に受験したのが国立音楽学校(現:国立音楽大学)の四谷分教場でした。ここでは「くにたち」を「こくりつ」と読み間違え「国立(こくりつ)の学校なら受かるだろう」との思いから受験しました。そして見事、国立音楽学校四谷分教場の受験に合格し本格的に声楽とピアノを学びました。

昭和9年、国立音楽学校四谷分教場を卒業後、音楽で生計を立てるべく当時、東京の九段下にあったニッソーレコード歌手オーディションの試験を受けました。テストで歌ったのは当時スター歌手で林伊佐緒がもっとも憧れていた松平晃の昭和9年のヒット曲「急げ幌馬車」でした。試験官は大正時代、浅草オペラでスターだった内海一郎で当時、ニッソーレコードのディレクターになっていました。この内海一郎は昭和15年に歌手、松島詩子と結婚します。林伊佐緒と松島詩子は長年に渡りキングレコードを支える二大スターとなるわけですが、このテストの時には知る由もなかったわけです。もうこの時から、内海一郎と松島詩子夫妻とのご縁があったわけです。 <次号へつづく>

ミントの家 山根 徹